



| | |
|---------------------------------|----|
| 定例会での主な質疑 | 2 |
| 新年度予算 予算特別委員会報告 | 4 |
| 常任委員会報告 | 8 |
| こんなことが決まりました | 9 |
| 町の考えを問う(4議員が一般質問) | 11 |
| 常任委員会 行政視察報告 | 14 |
| 議会ニュース | 15 |
| あれから「中学校体育館の空調設置」は どうなったんやあ~ | 15 |
| 未来へつながれ養老町 | 16 |
| 子どもの声 | 16 |

3月 定例会



議会QRコード

議会QRコード

マチイロ
スマホでようろう議会だよりが読めます

り
理り
屈くら
より
身からだ
体でかん
感じる
アートの地ち

養老かるた シリーズ

未来へつながれ 養老町 第6回

養老町で活躍する団体の活動内容等をご紹介します。

★ つばめ食堂(こども食堂) ボランティアグループ「結」★

こども食堂は、子どもが一人でも行ける無料または少額で食事を提供する場として、全国で1万箇所以上運営されており、子どもの居場所となっています。地域の子供達にあたたかい食事と安心して過ごせる場を提供したいという思いから、昨年、ボランティアグループ「結」を結成し、現在10名ほどの会員でこども食堂の活動を行っています。



子どもを見守りながら、セッセとご飯を運ぶツバメの子育ての姿から、「つばめ食堂」と名付け、養老町福祉センターをお借りし、養老町で2番目となるこども食堂として、昨年11月30日に第1回目をスタートしました。毎月1回のペースで、カレーやからあげ、ハンバーグなど子ども達が大好きなものをメインに、栄養を考えた副菜やデザートなど、できる限り手作りにこだわり調理しています。

また、つばめ食堂の一番の特徴として、養老町児童館や地域の団体の協力により、ちぎり絵づくりなど製作活動や運動遊びを行っていただくことで、食後も楽しく遊んで過ごせることにあります。



つばめ食堂は、中学生以下は無料となっていますので、ぜひ多くの子ども達に食べに来てもらいたいです。また、こども食堂の運営は皆様からのご支援によって成り立っており、いただいた食材等のご寄付は、子ども達におなか一杯食べてもらうために活用させていただいております。ぜひ、多くの皆様からのご支援ご寄付をお願いいたします。私たちは、主婦の集まりなので、料理の腕前も未熟ですが、子ども達の「美味しい!」という言葉と笑顔を励みに、これからも子ども食堂を続けて行きたいと思っております。

ボランティアグループ結 代表 佐野 養老町多芸西部地区在住 連絡先 090-7244-6191

子どもの声 第7回

大人のみならず、町内の子どもたちにも議会を身近に感じてもらい、興味を持って頂けるよう、子どもたちの素直な意見が聞けるコーナーです。今回は町内小学6年生にお願いしました。

僕は、たくさんの緑に囲まれた養老町が好きです。なぜかという、自転車で散歩をしていると、空気がきれいで、風も心地よく、とても気持ちがいいからです。道端で出会った方にあいさつをすると、返してくれるのでとてもうれしいです。そこから会話につながることもあります。地域の方に見守られている感じがして安心できます。

しかし、散歩中にゴミを見つけることがあります。自然に囲まれた養老町なので、ゴミのポイ捨てはやめてほしいです。看板にも書いてありますが、効果があまりなくて残念です。

議会だよりを見ると、議員のみなさんがよりよい養老町を作るために、たくさん話し合いをされています。議員さんだけでなく、みんなが自然を大切に守ろうと意識できるようになればうれしいです。(広幡小6年 H.Tさん)

令和7年5月に臨時会を6月に第2回定例会を開催予定です。

ぜひ傍聴にお越し下さい。詳しい日程については、「広報ようろう」6月号と町ホームページでお知らせします。一般質問の日は車いすの方も議会を傍聴していただけます。ご不明な点は、議会事務局までお問い合わせ下さい。議会の様子をライブ配信で見ることができます。

養老町議会では、町ホームページまたはLINEの公式アカウントより定例会の様子をライブ配信し、議会当日の様子がご覧頂けます。また当日は、役場ロビー設置のテレビで放映しています。



議会QRコード

議会だより編集特別委員会

委員長 西脇 康 副委員長 佐野 伸也 委員 野村 永一 委員 早崎 百合子 委員 岩永 義仁



3月定例会

令和7年第1回定例会が、3月4日から19日までの16日間の会期で行われた。

初日（4日）は、町長より新年度の施政方針が示され、専決処分4件の報告を受け、補正予算に関する専決処分を承認した。

また、条例改正、令和6年度補正予算及び令和7年度一般会計予算を含む全37議案の提案説明を受け、総括質疑を行った。条例改正等19議案を各常任委員会へ付託し、補正予算及び新年度予算18議案を予算特別委員会に付託することに決定した。他に、教育委員会委員の任命及び人権擁護委員候補者の推薦2件について同意した。

また、議員発議による養老町議会会議規則の一部改正、養老町議会委員会条例の一部改正及び、養老町議会の個人情報保護に関する条例の一部改正について、すべて可決した。

2日目（18日）は、4議員が一般質問を行った。最終日（19日）は、付託した各委員会の委員長から審査報告があり、条例改正、令和6年度補正予算及び令和7年度一般会計予算を含む全37議案を原案のとおり可決した。

また、令和7年度一般会計補正予算についての追加議案があり、提案説明を受け、質疑討論を経て可決した。

本会議における主な質疑内容

●養老町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

問 条例改正に伴いどのような影響があるか。

答 現在、対象施設において連携できる施設の確保ができていないため、改正に伴う影響はない。

●養老町消防団員等公務災害補償条例の一部改正

問 善意の一般協力者が消防作業等に従事した場合も、公務災害に該当するののか。

答 該当する。

●養老町スマイル町民パターゴルフ場設置及び管理に関する条例の廃止

問 廃止後の利活用の計画は。

答 近隣企業に利活用していただければと考えている。

問 面積と地目は。

答 面積は3893㎡で地目は雑種地。

●養老町障害者福祉年金条例の廃止

問 障害者福祉年金の廃止を受け、今後どのようなサービス給付への転換を検討しているか。

答 合計2社。

●養老町テレワーク施設の指定管理者の指定

問 何社の応募があったのか。

答 成年後見制度に関する相談及び利用支援や関係機関との連携調整、後見人の育成等を可能とする体制の整備。障がい者をはじめ支援を必要とする全ての地域住民の相談を受け止め、支援機関のネットワークで対応する重層的支援体制の整備。障害者手帳を取得していない小児慢性特定疾病の障がい児の方に日常生活用具の給付を可能とする事業の実施。放課後デイサービス事業所の整備など。

問 選定に至った経緯は。

答 施設の運営の基盤を整えるための十分な時間を確保するため指定管理期間を5年とした。一定の安定性と継続性に加え、新たな事業展開が見込まれることから選定に至った。



問 中ホールの空調修繕期間は利用停止になるのか。

答 利用は可能。中ホールは町民会館の代替施設となるので、町民会館を休館するまでには中ホールを万全の状態で行う。空調修繕を終了したと考えている。

問 仮設で設置する空調設備の内容は。

答 町民会館2階に大型スポットクーラーを2、3台ほど設置予定。

問 町民会館空調設備工事の事業費はいくらを見込んでいますか。

答 詳細設計の結果によるので現時点ではまだ算定できない。

問 名称をどうするかは上下水道事業経営審議会などで協議しながら検討していく。

●令和7年度一般会計補正予算（第1号）

問 町民会館が空調設備工事により9月から約1年間休館する予定とのことだが、過去に実施されたのはどのようなイベントについて、主催者や関係者との協議は行われているのか。

答 町民会館が使用できるという前提で使用申込等の調整をしてきたが、各種団体へは9月以降は使用できない前提で再度調整いただくようお願いしている。町主催行事については担当課にて今後調整していく。



問 各設備の保守点検委託業務があり、年度初め早々に年間の委託契約を締結するが、工事が開始され休館になった時点で変更契約を行う予定をしている。

答 愛の詩事業は全国募集であるため、様々な工夫をして実現していただきたい。

●令和7年度一般会計補正予算（第5号）

問 旧町民プールを総合福祉会館へ改修する計画の展望は。

問 物価高騰の影響などを踏まえ、他更地による跡地利用や、国の補助メニューなども調査研究しながら検討している。公共施設総合管理計画に基づき、町内施設の今後について順次検討していく。

●令和7年度一般会計予算

問 滞納者への対応について具体的な考え方は。

答 期限内納付を促すため、滞納者の事情にも寄り添った納税相談を行いながら滞納額が減るように努める。徴収推進室を中心として職員挙げて滞納が減少するように努めたい。

問 宅地等介在農地の適正な課税の考え方は。

答 過去の事例との公平性も加味しながら調査研究し対応していく。

問 旧町民プールを総合福祉会館へ改修する計画の展望は。

問 国の交付金を活用した、町独自で持続可能な政策の成功事例を見出す知恵や工夫についての所見は。



問 町長が大切にしている町民目線の基準は。

答 職員だけにまかせることなく、常日頃から現場に出て地域の方々と接しながら様々な意見を頂戴し課題を把握するよう心掛けていく。

問 旧町民プールを総合福祉会館へ改修する計画の展望は。

令和7年度予算 214億7,530万円(5.3%増)

一般会計 128億8,300万円(7.2%増)

※増減は令和6年度当初比

令和7年度 編集委員が選ぶ 4注目事業

**中学校校舎等施設整備事業
社会体育施設維持管理費**

合計 224,620千円

体育活動や部活動、児童生徒・体育館利用者の熱中症を予防するため、また、災害時避難所として重要な施設となる2中学校の屋内運動場に空調設備を設置。環境向上を図るもの。

中央公園野球場整備事業

396,475千円

令和8年度と10年度に開催される軟式野球大会の会場の一つとして決定しているため、スコアボード、本部席、グラウンド等の施設整備をおこなうもの。町民がこれまで以上にスポーツに親しめる場所づくりを目指す。

小学校・中学校給食管理事務

合計 81,228千円

物価高騰による保護者の経済的負担を軽減するため、学校給食費公費負担を2割から3割に拡充。物価高騰相当分の補助金額を月額500円から1,300円に見直す。

ネクスト100プロジェクト事業

35,018千円

地域産業の活性化を目的に、「まるごと肉まつり養老」や「軽トラSDGsマルシェ」を開催するための経費。

予算特別委員会への付託議案

●令和6年度養老町一般会計補正予算(第8号)

●令和6年度養老町事業について、令和6年度における養老鉄道への負担金の総額は。

●今回の補正分を含めて、予算額で2億2375万2千円。

●物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の補正理由は。

●所得額確定により、定額減税及び給付が不足していた方への追加給付を実施するため。

●令和6年度養老町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

●国民健康保険基金利子の利率は。

●0・15%で補正計上している。

●令和6年度養老町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)

●施設介護サービス給付費、及び、居宅介護サービス給付費が補正増となった要因は。

●全体的に利用者が増加したため。

●令和6年度養老町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

●後期高齢者医療広域連合への納付金について、今回の補正額を含めた令和6年度の総額は。

●4億7720万5千円。

●令和7年度養老町一般会計予算

●国や市町村の障がい者雇用の基準は。また、令和7年度の職員採用により当町の障がい者雇率は何%になるか。

●障がい者法定雇率は、令和6年から令和7年は2・8%で、令和8年度からは3%となる。当町の障がい者雇率は3%を超えている。

●企業版ふるさと納税について、寄附企業が希望する事業の実施により、寄附が取り消される事例が相次いでいるが、チェックリストなどの整備はできているか。

問 事業費の範囲内で寄附を受け入れており、事業費を超える寄附を受け入れていない。寄附が取り消されるような事例は発生していない。

答 事業費の範囲内で寄附を受け入れており、事業費を超える寄附を受け入れていない。寄附が取り消されるような事例は発生していない。

問 土屋禮一氏の絵画「紅葉譜」購入事業について、購入後の絵画の設置場所は。

答 役場の公室を予定している。

問 養老鉄道活性化事業について、今年度は老朽化に伴う施設修繕、消耗品の枕木や電柱の更新と伺っていたが、新年度での事業内容は。

答 路線全体を通してまだまだ老朽化が進んでいるため、今年度も同様の改修を進めていくと同時に、駅のLED化など、利用者の利便性向上に繋がるよう実施していく。

問 基金などの定期預金及び普通預金の、令和7年度における利息の設定率は。

答 金融機関の直近の金利等を参考に、今後の上昇を見込んで、自動継続の定期預金は0・3%、新規積立の定期預金は0・375%、普通預金は0・15%で予算計上した。



問 社会保障税番号制度について、戸籍に記載するふりがな通知の具体的な内容は。

答 戸籍に記載するふりがなを圧着はがきで郵送にて通知し、確認いただいたうえで、誤りがあった場合に申し出ていただくもの。国から提示された5月26日以降に、準備が整い次第発送する。1万4千件で予算計上している。

問 全国健康福祉祭(ねんりんピック)について、開催規模と町としてのおもてなし内容は。また、宿泊施設をどのように考えているか。

答 養老町ではベトナム大会が開催され、全国から72チームが参加する。選手や関係者を含め500人規模の大会となる。おもてなしとして、プレ大会で実施した町特産品の販売に加え、大垣養老高校で生産された物品の販売などを検討している。宿泊施設は町内の数が限られるため町外施設も必要になるが、宿泊施設や送迎バスについては県がまとめて手配する予定。



要望 養老町をPRできるいい機会となるため奮闘してほしい。

問 伴走型相談支援の制度化に伴う、妊婦等包括支援事業型の事業内容は。

答 妊婦、産婦すべてが対象となり、妊娠日から妊産婦等に寄り添いながら、出産育児の見通しを立てるための保健師の面談や、継続的な情報発信などを行い、必要な支援に繋ぐ伴走型相談支援を実施していく。



問 産後ケア事業の事業内容は。

答 令和4年度から実施してきた助産師が自宅へ赴く訪問型に加えて、新年度からは、産後の支援を必要とする

全ての母子が利用できるよう、産院等で実施する宿泊型と通所型を実施する。

問 温泉施設におけるDX推進補助金の事業内容は。

答 温泉がある宿泊施設においてキャッシュレス決済を行うと、入湯税にかかる部分まで手数料がかかるため、その部分を補助するもの。

問 ネクスト100プロジェクト事業について、新年度の実施計画は。

答 実行委員会にて内容を協議し決定されるが、軽トラSDGsマルシェは前年度の反省を踏まえ、駐車場を確保しやすい役場前駐車場を中心に実施することを考えている。まるごと肉まつりは、前回と同様に養老公園内駐車場を実施することを考えている。



問 企業誘致推進事業費の予算根拠は。また、企業誘致の推進に向けてどのような協議がなされたか。

答 工場等設置奨励金、及び、専門知識や経験を有する会計年度任用職員の人件費を計上した。現在、2か所のインターチェンジ周辺において、土地開発に関連する基本調査を実施しており、その結果を踏まえ、地域住民との合意形成が進めば、今後の事業化を検討していく。

令和4年度から実施してきた助産師が自宅へ赴く訪問型に加えて、新年度からは、産後の支援を必要とする

問 全国都市緑化ぎふフェア連携事業として開催する、SDGs マルシェの開催内容は。

答 養老公園入口（元交安協）駐車場にて、軽トラSDGs マルシェのようなイベントを計画している。

問 （仮称）橋爪大橋の開通式の日程と内容は。

答 まだ工事の完成日は確定していないので開通式の日程は未定であるが、年度後半を予定している。開催内容は期成同盟会にて協議していくが、地域住民から多数のご協力をいただいた上での完成であると認識しており、それを考慮に入れながら検討していきたい。

問 橋梁長寿命化計画事業における、烏江作造橋の修繕時期は。

問 東部町民体育館の空調設置工事の財源内訳は。また、国や県の補助対象にはならなかったのか。

答 充当率100%である防災減災国土強靱化緊急対策事業債を活用し、その他財源として施設利用料を見込んでいます。当初は断熱性を確保したうえで国の交付金を活用する予定であったが、調査の結果、それほど断熱性の確保に効果が見られなかったことが判明したため、断熱性確保工事を行わず、有利な起債メニューを活用して実施する。

答 出来る限り利率を抑えるために公的機関からの借入れを優先し、金利は、安定的な財政運営のため固定金利を選択するようにしている。償還方法は、償還

答 出水期を除いた10月以降を予定している。工事に伴う迂回路についても検討する。

問 中央公園野球場のスコアボード改修は実施するのか。

答 夜間照明6棟のうち2棟の改修工事を実施する。LED化については今後順次計画的に整備していく。



要望

子どもがあげられるような野球場の整備をしてほしい。

問 災害対策事業にて整備される、避難所用パーテーション及び防災マットの購入数と保管場所、及び整備時期は。

問 町債の低金利への借り換えや、繰り上げ償還の検討は行われたのか。

答 借り入れた地方債のうち、最も高い利率でも現在2%で、令和5年度に借り入れた地方債は1%前後の利率であり、大幅な高利率の借り入れはない。繰り上げ償還は、貸し手の損失に対する補償金が必要になることがあるので、慎重な判断が必要となるが、高利率の地方債を借り入れた場合には選択肢の一つとして検討していきたい。

問 令和7年度養老町立食肉事業センター特別会計予算

答 パーテーション150張、防災マット1、734枚を整備し、購入時期は令和7年度の早い段階を考えている。保管場所として、防災マットは、日常は生徒の座布団として利用するため各小中学校へ配備し、パーテーションは各小中学校や公民館に配備する予定。2分の1補助である地方経済生活環境創生交付金を活用する。

問 不登校について、なかなか相談にいけない保護者をフォローできるような環境整備が必要であると考えが見解は。

答 本年度は、県の拠点校指導員が養老小学校へ配置され、何かあれば他の学校へ出向く形とする。また、なかなか登校できない子をオンラインでフォローする方法も検討していきたい。

問 新しく教員になった方は4月に消防署で研修を受けている。各学校においては全教員が消防署において研修を受けており、操作方法を理解している。



問 情報化推進事業で整備されるタブレット端末の機種と台数及び導入時期は。

答 15人分、22件の回収が終了していない。分納誓約できていない方への対応が課題となっている。

問 令和7年度養老町上水道事業会計予算

問 令和7年度における水道管布設替工事の総延長は。

答 南岩道地区などで総延長約1kmの工事を予定している。

問 水道管老朽化に伴う、布設替年次計画はどのように計画されているか。また、その公表も必要ではないか。

答 上水道事業の開始が昭和50年代であるため、管路の布設年度が古く、緊急性のあるものは早めに対応するなど、状況を鑑みながら順次計画して布設替えを実施している。また、管路の耐震化を進めるため上水道耐震化計画を策定

問 全体の進捗状況は。

答 機種はiPadでタッチペンも購入する。購入台数は小学校1、045台、中学校712台。令和7年度中に購入し、設定等を行ったうえで、令和8年4月から利用開始できるように進めていく。

問 給食費の3割を公費負担にするこにより、保護者負担額はいくらになるか。また、昨今の物価高騰の状況でどのように工夫しているか。

答 3割が公費負担になることにより、保護者負担額として、小学校 月額 3、150円 年額 34、650円 中学校 月額 3、710円 年額 40、810円 献立表通りになるよう工夫しながら取り組んでいる。



問 日文化交流事業の派遣人数と実施時期は。

答 団長1名と高校生以上の団員7名を派遣する。8月上旬に2週間程度を予定しており、参加者を公募する。

問 東部町民体育館の空調設置工事の期間と概要は。また、設置後の利用料をどう考えているか。

答 8月から2月くらいを目途に実施したいと考えている。個別空調機を18台程度設置し、1台ずつ個別管理して温度調整ができるようにする。体育館内の競技に支障がないよう工夫して対応する。利用料については、空調設置後の実際の電気料などを確認したうえで算出したい。

問 令和7年度養老町後期高齢者医療特別会計予算

問 後期高齢被保険者人数と各自自己負担割合の人数は。

答 令和6年度 4、809人 令和7年度5、021人（見込み）

問 令和7年1月末現在の自己負担の割合は、

1 割合負担3、959人
2 割合負担 824人
3 割合負担 277人

問 普通徴収が比較的多い理由は。

答 特別徴収が基本になるが、基礎年金から介護保険料を優先して天引きし、その残りの金額の2分の1が、保険料より少なければ普通徴収となる。その場合は口座振替の勧奨を行っている。



問 令和7年度養老町住宅新築資金等貸付特別会計予算

問 令和7年度養老町上水道事業会計予算

総務民生委員会への付託議案

●養老町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

問 看護休暇取得の子の年齢範囲は、総務省の通達に基づき改正されるのか。

答 町規則での委任規定となるので条例の改正はされない。

問 新たに規定される、「介護両立支援制度等の請求等が円滑に行われるようにする措置」の具体的な内容は。

答 面談、書面、メール等により情報提供し、請求控えにならないよう配慮する。また、40歳に到達する年度には制度利用に関する研修を実施する予定。所属長と総務課職員係が連携を取って相談しやすい環境を整える。

問 介護休暇の対象親族は、同居に限らず対象となるか。

答 同居に限らず、町外・県外でも対象となる。

●養老町職員の旅費に関する条例の一部改正

問 昨今宿泊費が高騰している点は改正に加味されないのか。

答 今回の条例改正では宿泊費等の基準額は改正されない。令和7年度に旅費に関する条例の大幅な改正を予定しており、趣旨として旅費の実費支給を主体とする改正が含まれているので、当町においても県の動向に合わせて今後措置していく。

●養老町職員の給与に関する条例の一部改正

問 派遣により単身赴任している職員は何か。また、どのような目的で実施しているか。

答 現在、1名の職員が国の経済産業省へ出向している。本人のスキルアップや人脈作りに加え、国の仕事の仕方や他の自治体の国への要望方法などの見えない部分を学んでいただきたいと考えている。これからも機会があれば定期的に派遣をしていきたい。

●養老町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

問 小規模保育所の定員が満たされていない場合の対応は。

答 引き続き入園募集を行いながら、窓口へ入園相談があった場合に園の紹介をするなどの対応を行う。

問 今回の改正で保育内容支援連携協力者が拡充されるが、具体的な内容は。

答 これまで認定こども園や幼稚園、保育所が保育内容支援連携協力者と規定されていたが、加えて、小規模保育事業A型などが新たに追加されたもの。

●養老町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正

問 退職報償金の支給区分に新たに35年以上を加えるものだが、それ以上の区分を設定する議論はなかったか。

答 新たな団員確保だけでなく在籍団員の処遇改善を目的とし、シニア層の活躍も重要であるので35年以上の区分を新たに設けたもの。今後、高齢団員が増えてくると更なる改正に繋がっていくと考えている。

問 寄附金によって土地造成などを行ったことや、登記簿上は売買となっていることなど、当時の経緯を十分確認した。そのうえで、今後、土地を有効利用させていただけるよう、地元や町スポーツ推進審議会などで協議し、パブリックコメントも行った。ご理解をいただいた。工業団地が近くにあるので企業に活用していただければと考えている。

答 これまでの利用者数は、平成11年度から平成27年度までの間で計66件。



産業建設委員会への付託議案

●養老町移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の一部改正

問 特定公園施設とは何を指すか。

答 法律に園路、広場、休憩所などの12施設が規定されており、町有では中央公園が対象となる。

●養老町布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正

問 12月議会においても改正されているが、今回の改正理由は。

●養老町テレワーク施設の指定管理者の指定

問 利用者が少ないという課題解決に向けた具体的な取り組み内容は。

答 デジタルツールの無料セミナーを開催することによる町民のデジタル化サポートや、定期的なマルシェ開催による地域交流の促進。町外の企業とのマッチングイベントを開催することによる新たなビジネスの創出や、近隣の同類施設、商工会と連携した相談会などを通じた企業誘致の推進。企業向け無料セミナーを開催することによる町

問 新たに取組む内容は。

答 これまでに利用者が伸びてきた事業を更にブラッシュアップして実施していくことを主とし、その中で新たな取り組みを実施していきたい。

問 収支が赤字になった場合の補填の考え方は。

答 基本的には指定管理料の変更は考えていないが、災害などの不測の事態により情勢が激変した場合は、協議により変更できる条項を盛り込んでいる。



問 年間の利用者数、収支及び委託料は。

答 令和7年1月末現在で利用者数は1460人、利用料収入は約150万円。年間委託料は900万円。

こんなことが決まりました 審議した議案とその結果

令和7年3月 定例会

| 議案 | 結果 |
|---------------|-------------------|
| 令和7年度予算 | |
| 一般会計 | 全員賛成で可決 |
| 国民健康保険特別会計 | 全員賛成で可決 |
| 簡易水道特別会計 | 全員賛成で可決 |
| 食肉事業センター特別会計 | 全員賛成で可決 |
| 住宅新築資金等貸付特別会計 | 全員賛成で可決 |
| 上水道事業会計 | 全員賛成で可決 |
| 下水道事業会計 | 全員賛成で可決 |
| 介護保険事業特別会計 | 全員賛成で可決 |
| 介護サービス事業特別会計 | 全員賛成で可決 |
| 後期高齢者医療特別会計 | 全員賛成で可決 |
| 令和7年度繰入れ | |
| 食肉事業センター特別会計 | 一般会計から7,091万円繰入れる |
| 令和7年度補正予算 | |
| 一般会計(第1号) | 全員賛成で可決 |

4人の議員が登壇

一般質問

町の考えを問う

3月定例会では4人の議員が登壇しました。ここでは、質問と答弁を要約した内容を登壇順（質問順）にお知らせします。また、それぞれの議員のQRコードより一般質問の録画放送がご覧頂けます。

Table with 3 columns: 質問議員, 質問事項, ページ. Contains 4 rows of questions and answers.

<<注>>〇印の内容は編集上掲載していません。



はやさき ゆりこ 早崎百合子 議員



若年層の薬物乱用に歯止めを

町長 広報よろう等で啓発を実施

問 薬物の様々な相対窓口での体制は。

答 県・国等が共催する薬物乱用防止運動等のポスター・リーフレットを保健センターにて掲示・配布している。また、町内小中学校において、講師を招いて薬物乱用防止教室を開催し、薬物の危険性について学ぶ機会を設けている。

問 今後の薬物乱用対策の対応は。

答 薬物の恐ろしさや乱用防止対策を実施することの意義について、広報よろうや町ホームページ等における広報に力を入れていく。

問 市販薬の過剰摂取（オーバードーズ）を含めた薬物乱用に對しての予防啓発は。

答 町保健センターでは心身の悩みなどの相談に對する健康相談を実施している。また、県で実施している依存症専門相談や精神保健福祉相談についても周知を行っている。

問 町保健センター

ゲートキーパーとしての薬剤師等の対応マニュアルを国や県の専門機関で作成、公開している。



国等が発行している冊子

Table showing budget items for Heisei 6 fiscal year supplementary budget, including general account, health insurance, and nursing care.

Table showing ordinance items, including amendments to criminal law, elderly care, and public works.

Table showing other items, including reports on damages and council resolutions.

Table showing council members and their terms, including education and human rights.



清水由美子 議員

太陽光設置説明会への参加は

町長 どなたでも参加可能

問 更に増え続ける太陽光パネル。災害時、町の未来の姿に不安もある。量産が始まる太陽電池「ペロブスカイト太陽電池」に期待が高まる。

答 概要や環境への影響、予防措置、住民からの意見対応などの内容について、今まで5回開催された。質疑応答の記録も保存。

問 太陽光発電設備の敷設場所を把握しているか。

答 農地転用許可申請を通じたものは74箇所。それ以外は把握していない。

問 県と連携しパトロールを実施し聞いているが、実施状況は。

答 町独自の条例制定の予定はない。国や県の動向を注視し、調査研究していく。

問 太陽光発電設備等の適正な設置と自然環境との調和を図るための条例の制定は。

答 町独自の条例制定の予定はない。国や県の動向を注視し、調査研究していく。

問 昨年度、事前説明会が義務化された。その内容は。

答 認定申請の3ヶ月前までに説明会が義務付けられ、計画の

問 明会が義務化されたガイドラインも策定された。その内容は。

答 出力50kw以上のF-T認定を受けた設備、住民等から情報提供のあった設備が対象。47箇所内30箇所は調査完了。6年度は23箇所同行調査した。

問 認定申請の3ヶ月前までに説明会が義務付けられ、計画の

答 国や県の動向を注視し、調査研究していく。



吉田 太郎 議員

ふるさと納税の現状と今後は

町長 減収見込み 対策進めている

問 物価高を背景として寄附者のニーズが日用品などに変化しており、返礼品の大半を飛騨牛が占める町にも大きな影響が見込まれる。

答 令和6年度の状況は。

問 令和6年度の状況は。

答 ふるさと納税（一般分）の令和7年2月末時点までの累計額は6億1357万4千円となっている。昨年度の寄附総額が10億7495万1千円であったため、前年度と比較すると4億円以上の減収見込みである。

問 今後の対策は。

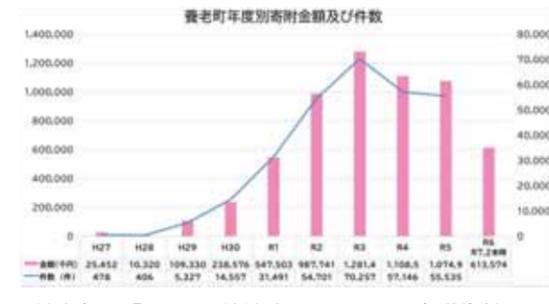
答 体験型の返礼品として、現状では遊園地の入場券など少数しかないが、新たに、木育施設の入場券やゴルフクラブのオーダーメイド券などを検討している。

問 体験型といった新しい視点での返礼品開発は。

答 体験型の返礼品として、現状では遊園地の入場券など少数しかないが、新たに、木育施設の入場券やゴルフクラブのオーダーメイド券などを検討している。

問 令和6年度では、4つのふるさと納税ポータルサイトで新たに受付を開始したほか、日常生活で使用できる新たな返礼品として、園児用レッスンバッグやオリジナルシヤンブーなどを追加した。また、既存の返礼品（飛騨牛など）についても小分けにするなど工夫し、バリエーション

答 令和6年度では、4つのふるさと納税ポータルサイトで新たに受付を開始したほか、日常生活で使用できる新たな返礼品として、園児用レッスンバッグやオリジナルシヤンブーなどを追加した。また、既存の返礼品（飛騨牛など）についても小分けにするなど工夫し、バリエーション



総務省HP「ふるさと納税ポータルサイト」掲載資料より



水谷久美子 議員

下水道管路インフラ対策は

町長 毎年順次管内カメラで点検

問 埼玉県で下水道管の破損が原因で道路陥没事故が発生し、メンテナンスによる老朽管インフラ対策が喫緊の課題となっている。

答 埼玉県で下水道管の破損が原因で道路陥没事故が発生し、メンテナンスによる老朽管インフラ対策が喫緊の課題となっている。

問 下水道管路の緊急点検は、実施したのか。また、その結果は。

答 2月5日、総管路68kmの内、管路の変化点を中心に職員による目視を実施した。異常堆積や腐食等は発見されず、道路面の変状なども見受けられなかった。

問 町民の安全や安心に配慮するため、緊急点検結果の周知を求めるが。

答 ホームページなどで周知したい。

問 下水道使用料の見直し案に係る意見募集は、より多くの受益者の声を聞く必要がある。改定率の1・51倍は、物価高の折、町民生活に多大な負担を強いる。意見募集の期間延

答 下水道使用料の見直し案に係る意見募集は、より多くの受益者の声を聞く必要がある。改定率の1・51倍は、物価高の折、町民生活に多大な負担を強いる。意見募集の期間延

以下の下水道等使用料の見直し(案)について、皆さまのご意見ご感想をお聞かせください。

- ・公共下水道、農業集排水、コミュニティプラントの使用料は、同一の料金体系。
- ・汚水処理に係る維持管理費を使用料で賄えるよう、下水道等使用料を改定し、**料金改定率(案)は1.51**。
- ※料金改定率(案)は、一番人口割合が大きい公共下水道をベースに。
- ・今回の料金改定では、施設の老朽化に伴う将来の固定資産の更新費用は加味せず。

| 養老町 | 基本料金 (1ヶ月につき) | | 超過料金 (1日につき) | | 基本使用料(円/月)(消費税含む) | | | |
|-------|---------------|--------|--------------|-------|-------------------|-------|--------|-----|
| | 水量 | 料金 | 10㎡ | 20㎡ | 10㎡ | 20㎡ | 30㎡ | 40㎡ |
| 現行使用料 | 10㎡まで | 2,200円 | 148円 | 2,200 | 3,680 | 5,160 | 6,640 | |
| 改定(案) | 10㎡まで | 3,322円 | 223円 | 3,322 | 5,552 | 7,792 | 10,032 | |

下水道料金見直し 養老町HPより抜粋

加齢性難聴発見に聴力検査を

町長 ニーズの把握に努めたい

問 人の囁き声に相当する30デシベルが80歳で聞き取れることを目標とする「聴こえ8030運動」が耳鼻科医学会で展開されている。

答 特定健診は、生活習慣病予防を目的としているため、聴力検査は入っていない。厚生労働省の難聴対応連絡会議でも費用対効果を含め知見を収集する見解である。介護予防の観点から難聴高齢者の早期発見・早期介入に向け取組を推進したい。

問 昨年の最新評価では予防できる認知症45%の内、難聴は最大要因との報告がある。国内では、難聴の自覚症状があっても耳鼻科受診は4割で先進国に比べ低い。特定健診への調査報告及び耳鼻科医聴力検査の助成制度を講じて頂きたい。

答 町単独事業になることから、受診率向上や認知症予防は未知数であり、現時点では実施の考えはない。

問 魅力的な健診メニューの拡充による健診受診率アップ、耳鼻科での聴力検査料金は、1割負担で400円前後であり、多額の予算を必要としない。

答 町単独事業になることから、受診率向上や認知症予防は未知数であり、現時点では実施の考えはない。



聴こえ8030運動HPより抜粋

ほかに「公営住宅施策について」の質問もしました。

総務民生委員会視察

2月3日

産業建設委員会視察

2月4日

○参加委員
早崎百合子（委員長）、大橋みち子（副委員長）、水谷久美子、野村永一、北倉義博、清水由美子

「議会業務継続計画（議会BCP）」について」（京都府京田辺市）

京都府京田辺市議会は、地震や台風など相次ぐ自然災害を受けて、議会としても、行政の防災担当部署との連絡調整、議会としての役割の明確化、議会機能の継続性を確保することを目的として、平成31年1月に「京田辺市議会業務継続計画（議会BCP）」が策定された。

自然災害発生時の議会BCPに加え、昨今の新型コロナウイルスの蔓延を受けて「新型インフルエンザ等の感染症類の対応」についても策定されていた点や、災害発生時に議会事務局職員が集まれるという保証がないことを前提として、全てを議員で運営するよう規定されていた点、議会と執行部の立場役割などを明確化している点など、先進的な計画内容となっていた。

また、地震を想定した議会BCP情報伝達訓練も行われ、参集体制・参集所要時間・安否確認等を行うとともに、非常通信として議会タブレット端末を活用した安否の確認及び被災地や避難所等の情報発信訓練を実施されていた。計画を策定するだけでなく常日頃から

訓練を実施することにより、有事の際に迅速に動けるような体制づくりを行っていた。

今後、議員改選や役員改選によりメンバーが入れ替わっていく中で、策定された議会BCPをどのように引き継ぎ、継続させていくかが課題であり、その時々携わった議員が十分理解して運用していくモチベーションを持つと同時に、定期的な訓練を実施することにより継続させていくことが重要である。

本町議会においても、令和2年に策定した「養老町議会災害時対応マニュアル」の改正について、今期総務民生委員会にて議論しているところである。今回の視察で学んだ点を大いに活かして、改正に向けて引き続き取り組んでいきたい。



○参加委員

西脇康（委員長）、佐野伸也（副委員長）、松永民夫、吉田太郎、岩永義仁

「空き家対策について」（奈良県宇陀市）

老朽化や人口減少により空き家の数は全国的に増加し、本町においても先般報告された消滅可能性自治体にも含まれるなど人口減少が顕著であり、今後は空き家が増えていく一方である。対策や施策は急務であり、取り組むべき重要な課題であると考えている。そのような背景のなか、空き家対策について先進的な取り組みをされている奈良県宇陀市への行政視察を実施した。

宇陀市の取組として、
・空き家、空き店舗を活用した事業を行う事業所に対して、施設改修、整備等にかかる経費の一部を補助。
・空き家に残る家財道具等の処分にかかる経費の一部を補助。
・空き家所有者と移住希望者の連絡調整・各種情報の提供を行うほか、地域と連携してスムーズな移住をサポートする空き家情報バンクの運営。
など、先進的な取り組みを実施し、その結果、空き家解消につながる事業効果を出していた。

また、空き家対策、利活用、移住定住などの様々な施策を、複数の部署が連携をとりながら総合的に実施されていた。人口減少という大きな課題解決に向けて、まさに全庁体制で取り組んでいた点も大いに参考になった。

宇陀市にて学んだことを活かしながら、今後の当町の「空き家対策」に関する課題解決に向けて取り組んでいきたい。



議会ニュース

垂井町議会と視察・交流会

1月28日、垂井町議会を訪問し、開設された「コネクトベース垂井」と「ワイワイプラザ垂井」の説明を受け、視察しました。



養老町議会議員研修を開催

1月29日、早稲田大学マニフェスト研究所事務局長である中村健氏を講師に迎え、「今後の議会改革推進の検討」についてご講義いただきました。



大垣養老高生と意見交換会を開催

1月30日、大垣養老高生19人と議員が4つのグループに分かれ、ワークショップ形式で意見交換会をしました。



おめでとうございます

3月4日第1回定例会にて、町長より野村永一議員と田中敏弘元議員が養老町議会議員20年表彰を受けられました。



あれからどうなったんやあ〜

シリーズ 114

このシリーズは、過去の定例会（今回は令和6年3月議会）での一般質問に関して、その後の状況をお知らせするものです。

問 文部科学省は、令和17年度までに全国の小・中学校の95%の体育館に空調設置を達成する方針である。当町の計画は。

答 空調設置には断熱の確保が必要であり、早急に状況を把握したい。建具改修・外壁面の断熱などの効果的対策を検討し、どの学校から整備するか検討したい。

こうなりました

学校の屋内運動場の空調整備については、体育活動や部活動等において、児童生徒の熱中症予防を図るとともに、地域の指定避難所としての機能を有することからも、避難所施設としての環境向上を図っていく必要があります。

昨年度、空調の設置に伴い、断熱の確保の必要性について、建具改修・外壁面の断熱など効果的対策を検討するため、断熱性能有無の調査業務を実施しました。調査の結果、断熱性の確保にはそれほどにも効果が見込めないことが分かったため、断熱性の確保工事は行わないこととしました。

今年度は、高田中学校屋内運動場と東部町民体育館において、空調整備にかかる予算を計上いたしましたので、順次、空調設置の整備工事を進めてまいります。



高田中学校屋内運動場



東部町民体育館